

平成27年12月26日

伊藤真純

KWC

年の瀬の東京の下町を歩く



2015/12/26

清澄庭園

日時：平成27年12月26日(土) <12月24日(木) 雨天順延変更>

集合：地下鉄「門前仲町駅」10:00

コース：門前仲町駅→富岡八幡宮→八幡橋→清澄庭園→田河水泡・のらくろ館(工事中)→猿江恩賜公園
東京スカイツリー→押上駅 16,000歩 11km(伊藤自宅含め22,000歩)

参加者：神谷L・宮野SL含め合計25名 (青字一般)

【A班】森山班長・平嶋・仲・伊藤真・奈良・佐藤繁・渡辺ち・小林・市村・小島ま・武倉
・中林・秋森 計13名

【B班】熊坂班長・神谷・高橋文・青松秀・菊池・藤原和・深瀬・宮野・平林・小田・木村
・青松美 計12名

天候：快晴

今年最後のウォーキング。当初予定の12月24日(木)天気予報悪く今日に順延された。当日はゴルフ例会(午前中小雨予報が朝方から曇りでプレイ)で参加出来なかったが、今日に変更されて12月2回目の参加で年末を迎えることが出来ました。今日のコースは個々には数回行っている処でしたが、自宅からも比較的近く、快晴の天候の中楽しくウォーキング出来ました。最後門前仲町「魚三」のアフターは40分行列並び待ち。その甲斐あり、新鮮な魚料理で美味しく下町気分を味わうことができました。神谷L宮野SL企画と案内有難うございました。2015年のラストウォーキングを江戸下町で締めくくりました。皆さん良いお年をお迎えください! P1

- ①門前仲町→②富岡八幡宮→③八幡橋→④清澄庭園→⑤田河水泡・のらくろ館→⑥猿江恩賜公園→
⑦東京スカイツリー→⑧押上駅



「門前仲町駅」お迎えの神谷L、森山班長他の世話役の人から地図をもらう。深川不動堂前を右折し深川公園へ



高橋文さんによるストレッチ



神谷Lからコース説明



【富岡八幡宮】 1627年、当時は永代島と呼ばれていた現在地に御神託により長盛法印が創建。

安全祈願



歴代横綱碑



大関碑 測量の父伊能忠敬の銅像



黄金の神輿 深川八幡祭は8月15日から17日、3年毎に「水掛け祭」が行われる。黄金の神輿と大小



富岡八幡宮御本社神輿
(日本一の大神輿)

当八幡宮には、江戸時代深川に屋敷のあった紀伊国屋文左衛門より三社託宣に因み八幡造り・神明造り・春日造りの三基三様の神輿が奉納され、みこし深川と云われて参りましたが大正十二年の関東大震災で惜しくもその全てを焼失してしまいました。それ以来、御本社神輿の復活は深川子子の念願でありましたが平成の御世になり漸く、昔に復るとも劣らない豪華な大神輿が復活致しました。

- 型の名称 屋根延神社型金地塗神輿
- 台輪幅 五 尺
- 高さ 十四尺五寸
- 重量 四五トン(渡御時における推定)
- 屋根の大きさ 最大幅十尺(厳手装着時)
- 担ぎ棒 十本杉末 縦添棒四本 横添棒四本
- ダイヤモンド
- 鳳凰の目 (四カラット二個) 鳳凰の火焰七カラット
- 拍木の目 (三カラット二個 一对)
- 隅木の目 (一カラット二個、四体)
- 小鳥の目 (二カラット二個、四体)
- ルビー 鳳凰の鶏冠(三〇〇個)

120数基が担がれその内大神輿54基が勢揃い渡御して、沿道の観衆から清め水をかけられ、担ぎ手と一体になって盛り上がり、江戸の粋を今に伝える祭です。

平成20年8月17日(日)友人会社2階から見させてもらった。当時の写真が見つからずHPから引用しました。一度は観ておきたいお祭りです。次回は平成29年8月か？



正面大鳥居



大鳥居では御正月御飾準備



馬神



「八幡橋」1878年京橋区楓川にアメリカ技師ワイヤー・ウィップル技師の発明した形式で設置された鉄橋。
1925年現在地に移設。 菊の紋章です

八幡橋 (旧弾正橋)
八幡橋は、明治11年(1878年)に京橋区楓川に架けられ、島田弾正屋敷が近くにあって弾正橋と呼ばれていました。
現在の中央区宝町三丁目付近に位置します。弾正橋は、馬場先門から本所・深川とを結ぶ主要街路の1つで、文明開花のシンボルとして架橋されましたが、その後関東大震災の復興事業により廃橋となりました。しかし昭和4年(1929年)には、その由緒を惜しみ現在地に移設され、八幡橋と名前も改められました。現在では江東区が大切に保存しています。
この東京名所図会(三ツ橋の現況)には、明治34年(1901年)頃の弾正橋(左奥)が描かれており、当時の情景が偲べます。
弾正橋・白魚橋・真福寺橋とをあわせて三ツ橋と呼び、古くから有名で人々から親しまれていました。



旧新田橋→

銅製の人力車



旧新田橋
新田橋は、大横川(前大田)に架かり、江東区木場五丁目から木場六丁目を結ぶ、町の人ひとの暮らしを支えてきた小さな橋の人道橋です。
大正時代、岐阜県から上京し、木場五丁目医院の開業をしていた新田清三郎さんが、昭和7年、不慮の事故で亡くなった夫人の霊を慰める、橋供養の意味を込めて、近所の多くの人たちと協力して架けられたものです。
当初、「新船橋」と名付けられたが、町の相談役としても人望が厚く、「木場の赤ひげ先生」的な存在であった新田医師は、亡くなった後も地域の人々から愛され、いつしか「新田橋」と呼ばれるようになりました。
また、映画やテレビの舞台ともなり、下町の人々の生活や歴史の移り変わり、出会いや別れ、様々な人生様子をこの橋は静かに見守り続けてきました。

木更木橋



上行堂 代表して撫ぜなぞして戴きました 引率先導隊



深川江戸資料館に入る。神谷Lに大鵬関と背比べして戴きました。



深川江戸資料館
小劇場

【清澄庭園】 81千㎡、紀伊国屋文左衛門屋敷跡、1878年岩崎彌太郎が買い取り、全国から銘石を運び遊歩道に並べられている。爺婆ランデブーには最高の庭園です・・・？
集合記念写真（巻頭の集合写真は背景を入れて、こちらは人物主体）



枝ぶり良く手入れされた松と銘石、そして中之島と青い空の映る池の眺めは最高です。



【昼食】 少し時間は早い11:30~12:10 園内の公園で。5,000歩
皆さん日当たりのよいテーブル付でお弁当 KWCで貸切のようでした。



柳が垂れて、池と鴨、松と雪つり、茶室そして青空に東京スカイツリーも見える。マンションが邪魔ですが・・・



鍛山（しころやま）部屋（元寺尾関） 大嶽部屋（元大鵬関） 深川には5つの部屋がある。部屋巡り。



小名木川を「高橋」で渡る



のらくろ商店街

水門もあります



秋ののら天収穫祭

「のらくろード」にきました



のらくろせんべい



「田河水泡・のらくろ館」は工事中。「長谷川平蔵・遠山金四郎碑」ノボリは沢山立っていましたが小さい碑



「横十間川」から東京スカイツリーが見えてきた。銀杏の落ち葉が赤い木に【猿江恩賜公園13:05休憩



1733年江戸幕府公認の貯木場として開かれた。明治政府御用達の貯木場でもあった。1932年開園。



145km²ある公園で、シンボルの緑屋根時計台は北園にある

「横十間川」沿いの遊歩道を歩く 小さい遊覧船、いいですね・・



「旅所橋」いい名前でしょう！



「天神橋」 「横十間川」沿いを行くと東京スカイツリーに向かいます。「北十間川」の観覧撮影最高ポイント。



集合写真を撮りましたが、逆光でお顔は暗くなりましたので、合成してみました。悪しからず。



東京スカイツリー3体写真。光るビルとツーショット。北十間川に映る姿（見上げなくて、首が痛くない）



東京スカイツリー到着、熊坂班長さんによるクールダウン。神谷L「お疲れ様でした。ここで解散します。16,000歩11kmとします。希望者でのアフターウォークは、スタートの門前仲町に戻り、有名な下町酒場「魚三」へ行きます。15:15この場所に集合して下さい。」

スカイツリー好天の土曜日、展望台は2時間待ちでした。水族館も同じようでした。参考までに展望台350m¥2,000、450m展望回廊は更に¥1,000追加。日本晴の今日は最高でしょう。相変わらず人気のあるポイントです。クリスマスも終わり、お正月の準備をしていました。

「アフターウォーク in 魚三・門前仲町店」1・2階スタンド、3・4階座敷 KWC4階 15:20から並び16時開店、直前の15:56↓200人位の行列。予約もできるが@3,000のコース料理注文付必要。



並んで待つのも下町の味。注文は体験済の宮野SLに注文お任せ。休む暇もなしに出る魚料理。美味しい。



編集後記：企画、下見の神谷L・宮野SL・青松さん、下町の味を十分味わうことが出来ました。日本晴れの中、最高のウォーキングでした。いつものポケ防止用日記帳「メモと写真」です。失礼な記述や誤記が有るかもしれませんがお許しの程。説明文はHP他から引用しました。